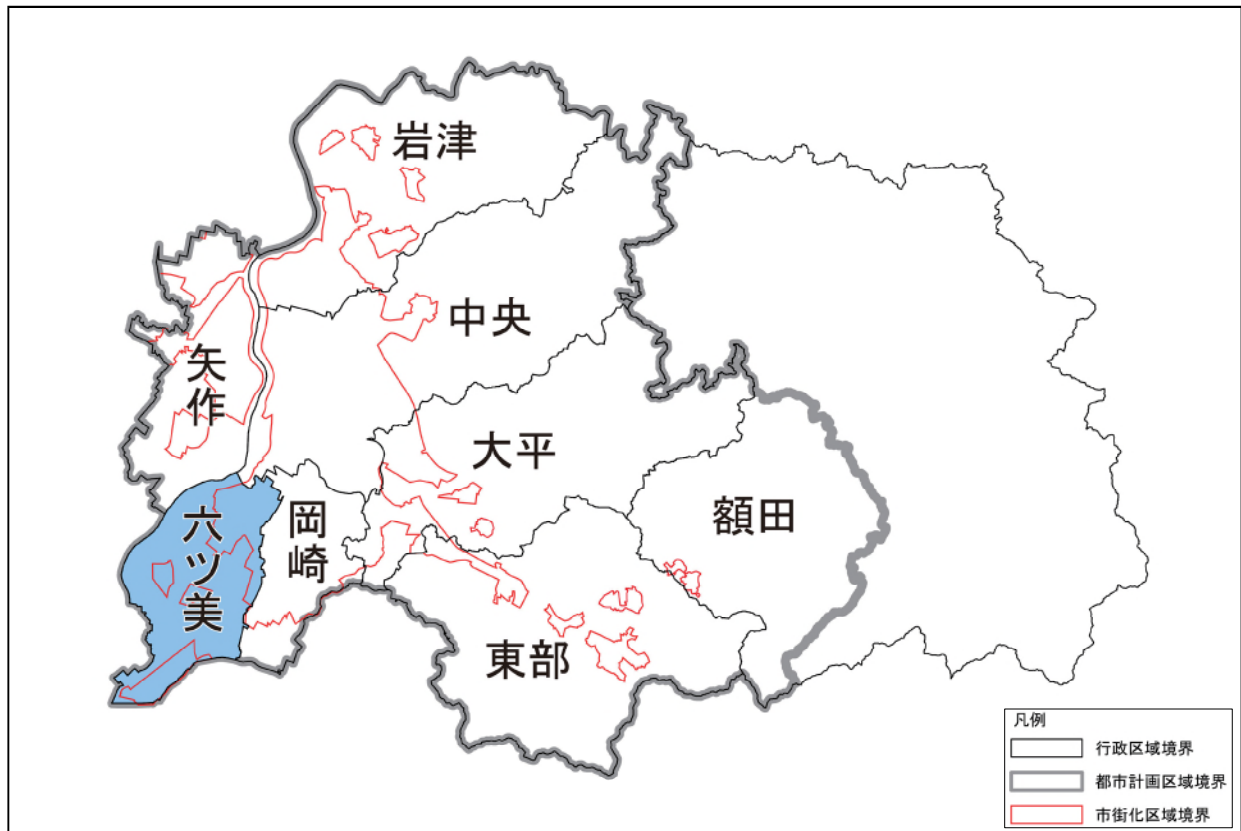


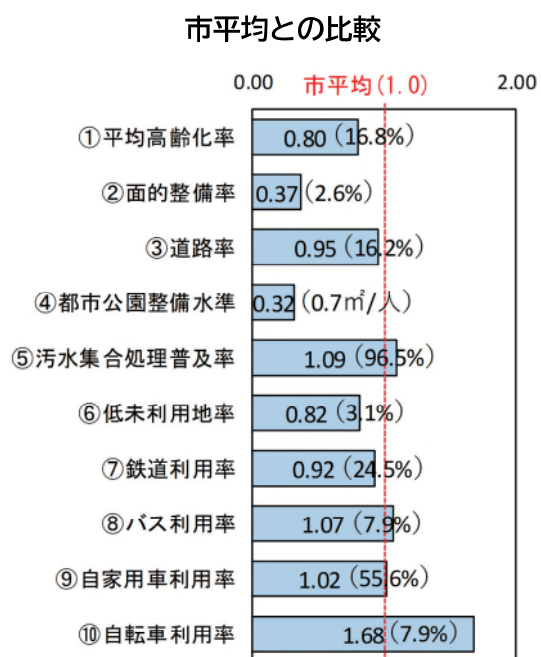
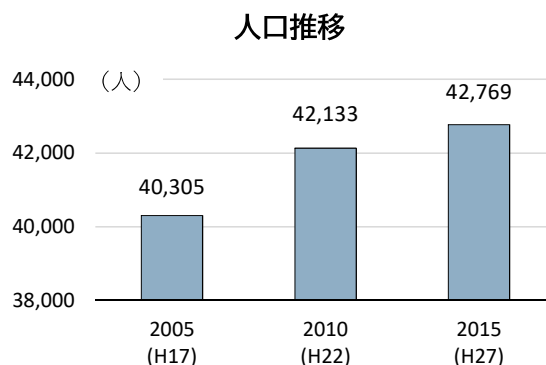
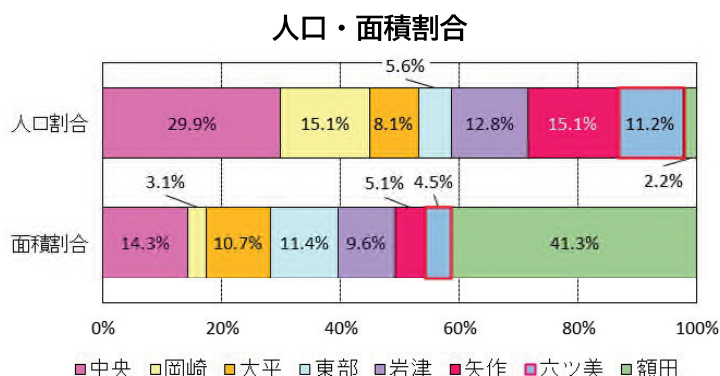
六ツ美地域

矢作川左岸に広がる平野部で、地域の北側と南側には市街化区域※が指定されており、中央の市街化調整区域※には農地が広がっています。

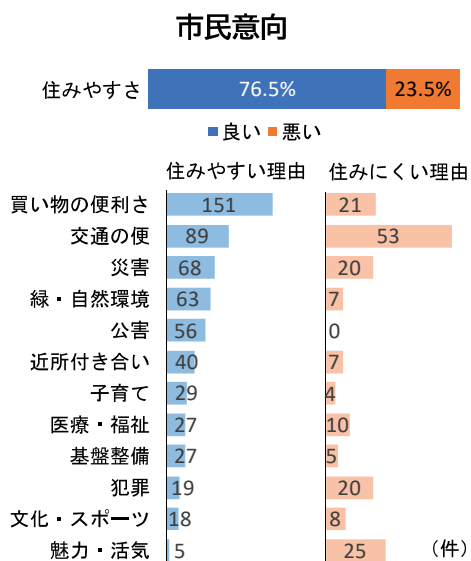


2015 年人口： 42,769 人（市域全体の 11.2%）
面 積： 1,739 ha（市域全体の 4.5%）

（１）地域の現況



(市平均値を 1.0 とした相対評価、括弧内は各指標の地域の実績値)



現況のまとめ

- ①地域の北側と南側には市街化区域※があり、中央の市街化調整区域※には農地が広がっています。(現況)
- ②地域の中央に大規模工業施設が集積しています。(現況)
- ③中島バス停周辺を地域拠点に位置づけ、生活利便性を支える機能の維持・集積を図り、六ツ美市民センター周辺を地区拠点に位置づけ、生活環境※の維持を図っています。(現況)
- ④悠紀の里などの歴史・文化資源が点在しています。(現況)
- ⑤人口は増加傾向にあるものの、増加幅は縮小しています。また、高齢化率は市平均以下となっています。(比較)
- ⑥面的整備率、都市公園整備水準が市平均を下回っています。(比較)
- ⑦鉄道やバスなどの公共交通の利用率は市平均とほぼ同水準にあります。(比較)
- ⑧道路率は市平均と同水準ですが、意向調査の住みにくい理由として約4割の市民が交通の利便性に課題を感じています。(比較、意向)
- ⑨矢作川などの浸水想定区域※があります。(現況、意向)

(現況)：地域の現況 (比較)：市平均との比較

(意向)：アンケート、説明会からの市民意向

（２）まちづくりの課題と目標

＜六ツ美地域の将来像＞

地域の北側と南側では良好な居住環境※づくりを進め、中央では優良な農地を保全するまちづくりを目指します。

まちづくりの課題	まちづくりの目標
主要課題１ 広域的なネットワークの変化への対応 ・大規模工業施設の集積を生かした産業の振興（現況のまとめ②）	目標１ 工業集積を生かした産業の振興
主要課題２ コンパクトでスマートな都市づくりへの対応 ・地域拠点の生活利便施設の集積と地区拠点の生活環境※の維持（現況のまとめ③） ・公共交通の利便性の向上（現況のまとめ⑦） ・無秩序な市街化の抑制（現況のまとめ①） ・自然環境の保全と活用（現況のまとめ①）	目標２ 地域拠点、地区拠点を中心とした生活利便性の集積と維持
主要課題３ 住み続けられる居住環境※の質の向上への対応 ・道路などの基盤施設※の充実（現況のまとめ⑥⑧）	目標３ 市街地や集落地などの特徴を生かした居住環境の形成・維持
主要課題４ 自然・歴史・文化を生かした都市の活性化、観光振興への対応 ・悠紀の里などの地域資源の保全・活用（現況のまとめ④）	目標４ 地域資源を生かした魅力ある空間の創出
主要課題５ 大規模自然災害などに備えた安全で安心な都市づくりへの対応 ・災害に備えたハード・ソフト対策による被害を最小限に抑える取組み（現況のまとめ⑨） ・治水対策の促進（現況のまとめ⑨）	目標５ 市民などとともに水害などの危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応

（3）まちづくりの方針

土地利用※に関する方針と主な施策

1 地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標2 目標3

良質な居住環境の形成

- ・地域の北側と南側には専用住宅地と一般住宅地を配置し、良質な居住環境の形成に努めます。

2 地域の特性に応じた都市機能※の導入・集積による利便性の高い市街地の形成

目標1 目標2 目標3

地域拠点の形成・・・1

- ・地域拠点の中島バス停周辺に周辺商業地を配置し、地域住民の日常生活を支える機能の維持・集積を図ります。

地区拠点の機能維持・・・2

- ・六ツ美市民センター周辺では地区拠点にふさわしい公共施設を中心とした地域交流機能の維持・向上に努めます。

沿道サービス施設の立地誘導

- ・都市計画道路※衣浦岡崎線や岡崎一色線など主要な幹線道路の沿道は沿道複合地として、商業や業務などに係る沿道サービス施設の立地を誘導します。

3 産業振興に資する産業用地の確保・誘導 目標1 目標3

産業用地の検討

- ・既存の工業地に隣接し市街化調整区域※の市街化が見込まれる地区は、産業用地としての検討を進めます。

良好な操業環境の保全・活用

- ・地域の中央の大規模工業施設が立地している地区は、工業地として位置づけ、住宅地と区分しながら良好な操業環境の保全を図ります。

4 無秩序な市街地拡大の抑制と市街化調整区域の自然環境の保全 目標2

無秩序な市街化の抑制

- ・市街地の拡散を防止するため、無秩序な市街化を抑制します。

市街化調整区域の自然環境の保全・活用

- ・生物多様性の保全を図り市民が身近に自然を感じられるように、市街化調整区域の農地などの保全・活用を推進します。

集落環境の維持

- ・農地などの田園環境を保全し、大規模集落地などでは生活環境※の維持に努めます。

市街地整備※に関する方針と主な施策

- 1 地域の特性に応じた魅力ある市街地の形成 目標1 目標2 目標3
 住居系市街地の形成・・・3
 ・地域拠点に近接する市街化調整区域※の市街化が見込まれる地区については、適正な土地利用※を図り居住環境※の向上を図ります。
- 2 低未利用地※などの利活用の推進 目標2
 低未利用地の有効活用
 ・計画的な市街地形成のため、一団の低未利用地の土地利用を検討します。

道路・公共交通に関する方針と主な施策

- 1 広域道路網※の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備推進 目標1 目標2 目標3
 都市計画道路※などの整備・・・4
 ・地域内や地域間の円滑な交通を確保するため、都市計画道路衣浦岡崎線の4車線化を促進し、都市計画道路若松線や市道針崎野畑線や中島岡崎天白線などの整備を推進します。
 ・橋りょうなどの道路構造物は、定期的な点検と計画的な補修・補強を実施し予防保全を図ります。
- 2 安全で快適な歩行者、自転車通行空間の確保 目標3
 歩行者や自転車の通行空間の確保
 ・歩行者や自転車利用者が安全で快適に移動できるよう身近な道路の整備を進めます。
 ・通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の交通安全対策を推進します。
- 3 鉄道やバスなどの連携による公共交通ネットワークの構築 目標2 目標3 目標5
 バス交通などの連携強化
 ・岡崎駅と地域拠点を結ぶバス路線の維持・確保を図るとともに、地域での主体的な取り組みを基礎とした移動手段の確保と利便性の向上に努めます。

公園・緑地に関する方針と主な施策

- 1 生産緑地※や社寺林などの自然環境の保全 目標3 目標4 目標5
 生産緑地の保全・活用
 ・都市農業※の保全やグリーンインフラ※の観点から、生産緑地の保全と活用を推進します。
 身近な地域資源の保全
 ・自然・歴史・文化などの身近な地域資源を保全します。

河川・上下水道に関する方針と主な施策

1 治水・浸水対策の強化 目標3 目標5

河川改修などの促進

- ・矢作川の河川整備流量を安全に流下させるために、河道掘削や樹木伐開を行い必要な河道断面を確保する取組みを促進します。
- ・洪水による災害の発生防止、被害の軽減のため、矢作川下流域圏（広田川など）の河川改修を促進します。
- ・河川情報の収集と情報伝達体制、警戒避難体制の充実を図ります。

景観・自然環境に関する方針と主な施策

1 景観計画に基づく歴史・文化資源や景観の保全 目標3 目標4

悠紀斎田の保全・・・5

- ・歴史・文化資源の大嘗祭悠紀斎田を保全します。

防災に関する方針と主な施策

1 防災都市基盤の強化による災害に強い都市づくりの推進 目標3 目標5

公共施設の耐震化

- ・橋りょうなどの公共施設の耐震化を推進します。

防災機能を有する道路や広場などの整備

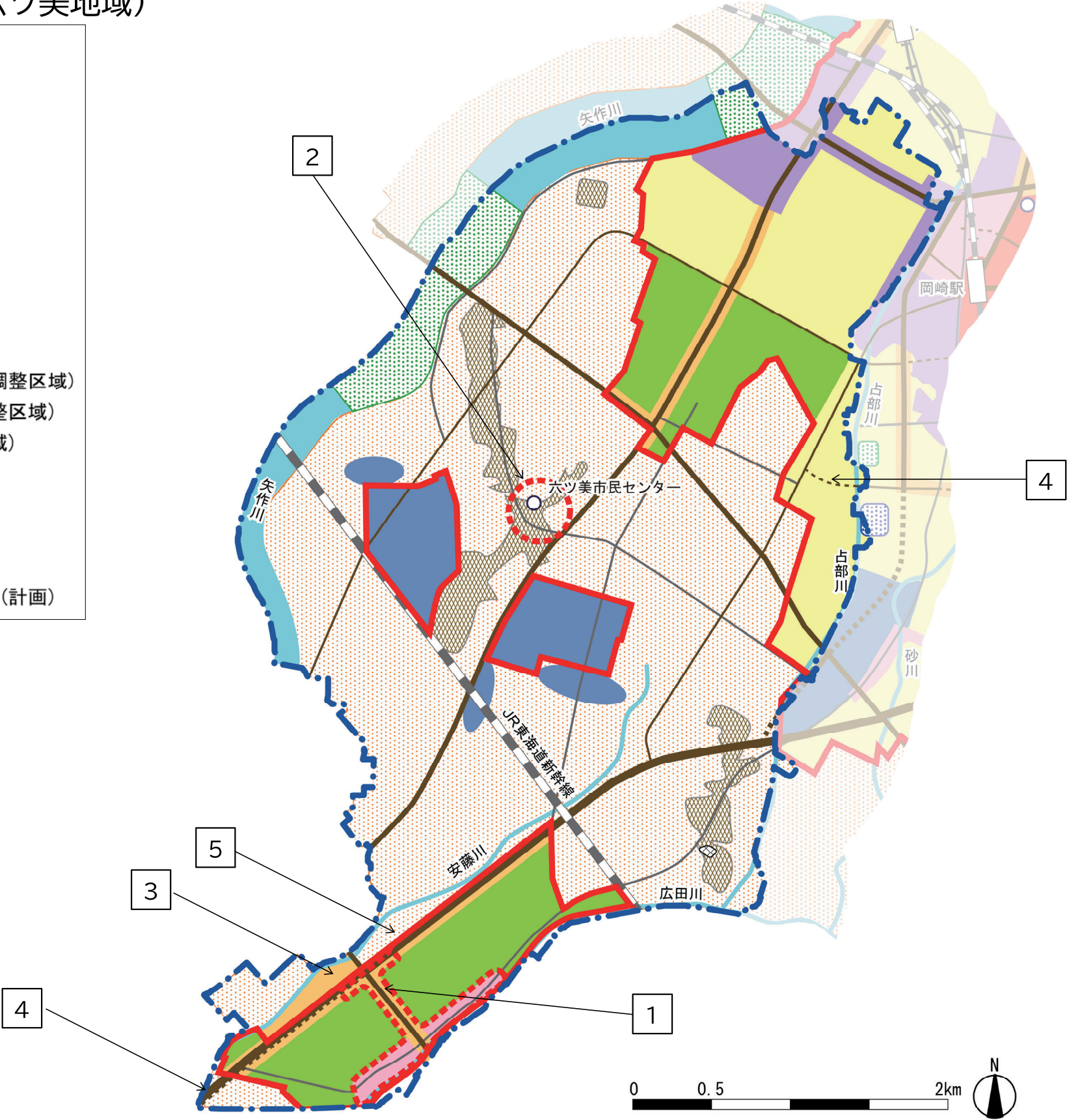
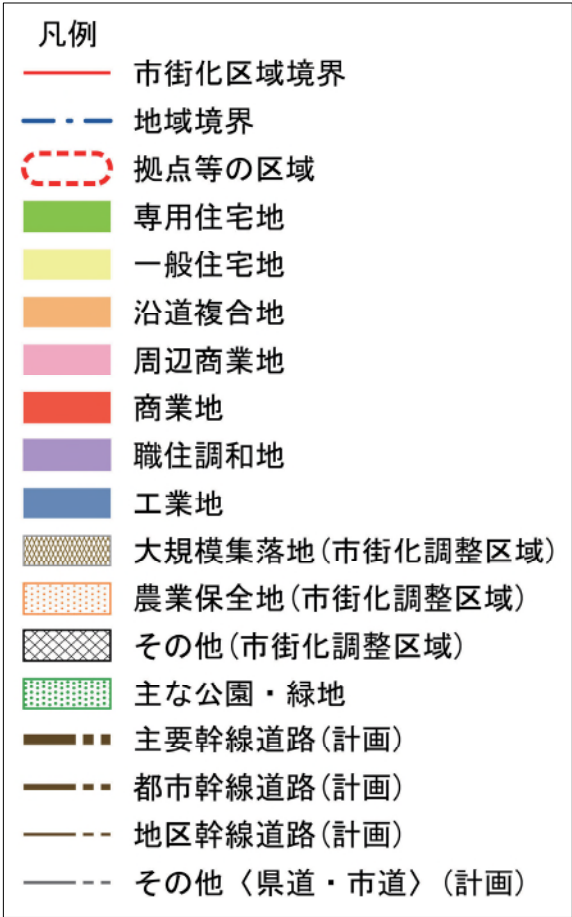
- ・災害時の地域住民の安全を確保するため、避難路である道路や避難地、火災延焼防止機能を有する広場などの整備を図ります。

2 復興事前準備の取組みの推進 目標5

災害に備える体制の検討

- ・市民や事業者などとともにまちの防災性を向上させる取組みを促し、災害に強く早急な復旧・復興ができる体制を検討します。

まちづくり構想図(六ツ美地域)



No	施策・事業
1	地域拠点の形成
2	地区拠点の機能維持
3	住居系市街地の形成
4	都市計画道路※などの整備
5	悠紀斎田の保全